

“必要な場”と“配慮事項”について 話し合いました

プログラム

令和元年11月12日(火)
19:00~21:00
【第2回住民ワークショップ】

1. 開会・あいさつ、説明
2. 自己紹介
3. 第1回ワークショップの振り返り
4. 意見交換
 - ① 3つの将来像を実現するために、病院跡地がどのような“場”になると良いか
 - ② “場”を整備するにあたって配慮すべき事項
5. 発表
6. 閉会

第1回ワークショップ（令和元年10月31日開催）では、芦屋中央病院跡地を含む周辺地域が将来どのような地域になると良いか、その将来像について意見交換を行い、大きくは「様々な人が住めるまち」、「地域のつながりがあるまち」、「賑わいがあるまち」の3つに集約することが出来ました。

今回（第2回）のワークショップは、男性5人、女性7人の計12人にご参加いただき、それぞれの将来像を実現するために必要な“場”と“場”を整備するにあたっての配慮事項”について意見交換を行いました。その様子をワークショップニュースとしてみなさまにお伝えします。



第1回住民ワークショップの振り返り

■地域の将来像について（こんなふうになったらいいな）
地域の将来像については、以下の3点に意見を集約することができました。

- ① 様々な人が住めるまち ・高齢者も若い世代も安心して暮らせる地域
- ② 地域のつながりがあるまち ・地域の伝統的な行事や交流
- ③ 賑わいがあるまち ・町内外から人が集まる ・お店や働く場がある



多様な家族が住めるまち	●安心 ●高齢になっても住みよい町づくり	●安全なまち ●若い人の住みつく場所	●飛砂がなくなる ●家族で定住できるような住みやすい地域
高齢世帯	●子供が増えてにぎやかな地域	●若い世代の定住など人口増加	●若い人達に住んでもえる住みよい町づくり
子育て世代	●20代の若手が素敵だと感じる地域	●子供の育てやすい地域	
働く場	●仕事がある地域	●子供たちが出て行かない、働き場のある地域	
地域のつながりがあるまち	●地域の交流を密に ●活気のある地域	●大きな声がかきこえる地域 ●知らない人でもあいさつができる町	●地域活動が活発なので安心している ●それがこのまま続いていく地域
賑わいがあるまち	●自然、海、景観を活かしたレジャー、観光で賑わう地域 ●外部より人が訪れる地域	●芦屋港を拠点に活性化する地域 ●高齢者が多いので共立大学の学生さん達と交流が出来る地域	●色々なイベントをして、子供達や若者達の出入りがある地域 ●きれいな海
アクセシビリティ	●来やすいまち アクセスとか ●交通の便がよい地域	●しっかりした道路がある地域 ●区画整理や道路等の整備された地域（道路の改良や袋小路の解消）	

第2回住民ワークショップの様子

当日の会場の様子とワークショップ後に実施した参加者アンケート結果を掲載します。



▲意見交換の様子



▲意見交換の様子



▲意見交換の様子



▲発表の様子



▲発表の様子



▲発表の様子



▲全体の様子

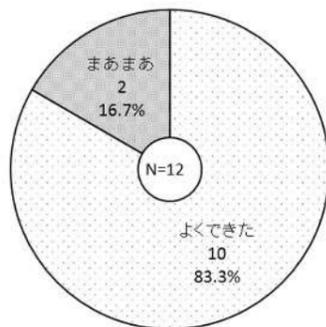


▲まとめの様子

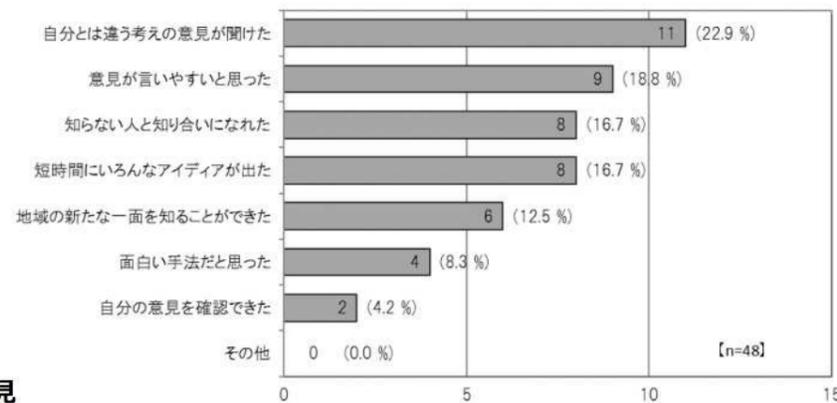


第2回住民ワークショップへの参加者アンケートの結果

Q.グループ内での議論は
いかがでしたか？



Q.本日のワークショップはいかがでしたか？



■ワークショップの感想、自由意見

改めて、芦屋町の事を考える事が出来ました。p
色々な事を聞いて良かった。
今回はどう表現したらいいのか難しかった。
実際の施設について話をしたかった。
参加させて頂きありがとうございました。よりよい町づくり、期待しています。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

参加者で協議した内容を下記のようにまとめました。

■芦屋中央病院跡地活用に向けた第2回住民ワークショップの結果まとめ

※ () 内の数字は同一意見の数

将来像①「様々な世代の人が住める地域」にするために必要な“場”	将来像②「地域のつながりがある地域」にするために必要な“場”	将来像③「賑わいがある地域」にするために必要な“場”		
<p>■家族みんなで楽しめる“場”</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子供連れや若い家族が遊べるショッピング施設や娯楽施設 ●家族で行ける風呂 老若男女入れる ●子供達の遊ぶ場所 (2) ●子供の館 (やかた) 的なもの <p>■ショッピングや食事や運動などが楽しめる“場”</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1Fにショッピングセンター、2F~は住居で車なくても買物可能 ●若い人が集まるショッピングモール ●女性が集まる美味しい食事の店 ●平日でも運動できる場 朝早くから夜遅くまで プールなど <p>■“働く場”、“働く人がくつろげる場”</p> <ul style="list-style-type: none"> ●商業施設・働ける場 ●企業等の誘致 ●若者に住んでもらうため、通勤可能 (30~40分) 範囲で働ける会社 ●働く世代がリラックスできる場 <p>■屋内で高齢者がみんなとすごせる“場”</p> <ul style="list-style-type: none"> ●老人ホーム (芦屋町の高齢化率 31.2%) 今の建物使用可 ●高齢者が顔を合わせておしゃべりできる場 (2) ●高齢者も行けるトレーニング教室 	<ul style="list-style-type: none"> ●話し場所としての広場や公園等 ●今の建物の一部を銭湯 (憩いの家を一箇所) ●児童館&図書館 子育て世代と小さい子供が集える場 <p>■年間をとおして町外からも人が集まる拠点となる“場”</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンサート広場等 ●各地区巡り (あしや巡り) のウォークラリー ケーキ付 (2) ●マラソンのスタート・ゴール 食べ物で人を呼び込む ●B級グルメを集めて、TV呼んで、海に乾杯! ●スケートボード競技場 ●年間を通して楽しめる場・施設 (2) 	<p>■芦屋町での滞在時間を長くし、宿泊もできる“場”</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自転車・釣り・サーフィン・イベント等で、夏以外に芦屋を訪れた人の滞在時間を伸ばす場 ●宿泊施設、キャンプ場 オシャレで安く泊まれるところ ●芦屋港活性化と連携した構想が必要 ●おいしいもの (魚・スイーツ) ●見晴らしのいい場所 ●学生や働く人 (屋にいない人) が、夜に立ち寄れる場 ●研修会や会議をしてそのまま泊まれる場 ●定住もできる施設 <p>●町歩き (歴史)</p> <p>●町内もしくは町外者も参加でサンバ大会 (2)</p> <p>●トリックアート (インスタ映えスポット)</p> <p>●海辺を利用して一年間活性化のもの</p> <p>●年間通してコンスタントに催しを行う</p> 		
<p>■複合的な“場”…全部盛り込む</p> <ul style="list-style-type: none"> ●とにかくなんでもつめこんでみよう! ●安心して住めて世代を問わずリラックスしながら交流できる施設 ●スーパー銭湯、公園、老人ホーム、カフェなどを全てまかなえる施設 				
<p>■誰もが気軽に集まれる“場”、仲間と集える“場”</p> <ul style="list-style-type: none"> ●色々な世代の人が、男女問わず色々な話を気軽にできる場 (3) ●子供たちが集まり、高齢者と会話したり上級生が面倒みたりするような場 (2) ●年齢に関係なく、食べて遊べて時間をつぶせる場 ●講座 (趣味等) が受けられる場 	<ul style="list-style-type: none"> ●自由に食べ物の持ち寄りができる場 ●サロン活動・ふれあいができる場 ●若い世代から高齢者まで静かに楽しめる場所 (屋内施設) <p>■祭やイベントなど 地域の活動の“場”、人と人とのふれあいの“場”</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域活動 (自治区の集まりや年1回の町民体育祭、盆踊り大会や秋まつり) ができる場 ●昔あったアンビシャス広場のように地域の高齢者が昔遊びを子供たちに教えたり、竹とんぼを一緒に作ったり多年齢交流できる場 ●若者・子供・高齢者が一緒に楽しめる場、催し (2) ●夏休み、ラジオ体操をいくつかの自治区合同でやれる (1つの区だけだと少ない) ●祭りあしやのようなイベントができる場 ●文化祭のときだけでなく、いろんな時期にいろんな人が発表できる場 ●知らない人でもあいさつ・ふれあいができる場 	 <ul style="list-style-type: none"> ●地域でのイベント 若者と高齢者が一体化でウォーキング ●子供から老人まで一緒に食事 (パーベキュー) 等する場 ●祭り (出店)・盆おどりをする場 (4) ●町民体育祭ができる場 (2) 		
<p>住民が集まる場 (最も多い意見)</p>				
<p>整備にあたって配慮すべきこと</p>				
<p>★道路・交通への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ●車の渋滞 (2) ●幹線道路の確保 ●大型トラックの運転マナー ●警備員の配置 (交通誘導) <p>★交通弱者への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ●免許返納された方への交通費の援助・支給 ●お年寄りの送迎 ●スクールバス (小・中学校へ) 	<p>★防犯性や安全性への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ●工事中、老人や子供の安全 ●風が強い時の工事の際は注意 ●運営中のセキュリティ対策 ●防犯カメラの設置 (2) ●人が集まるところ⇒暴走族が来るかも 対策必要 	<p>★自然環境や住環境への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ●工事や工事車両の騒音 (2) ●飛砂防止 (2) ●海・自然・景観をくずさないように <p>★事業費への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資金繰りの問題 お金がかかりすぎるのではないか、建物壊したり、更地にしたり (2) 	<p>★継続性への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ●海の近くなので、30年後、50年後のことを考えてほしい ●維持管理に気をつけて ●事業を継続していくこと 	<p>★その他の配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ギャンブル施設 (パチンコ屋) はいらない ●町民割引 ●人口の減少に歯止め ●公共なのか民間なのか ●参加を強制しない ●マナー (ごみ等) お金もおとすがゴミもおとす ●催し物のとき、バックアップ ●イベント数に対する対応人員の数